

### 3. 流域の水文特性

#### (1) 水文観測所

平成2年度までに高津川流域に設置されている建設省ならびに関係機関の観測所は、雨量観測所が8ヶ所、水位観測所が5ヶ所である（表4-1、2）。図4-9に流域内の雨量・水位観測所の位置を示す。



神田水位観測所

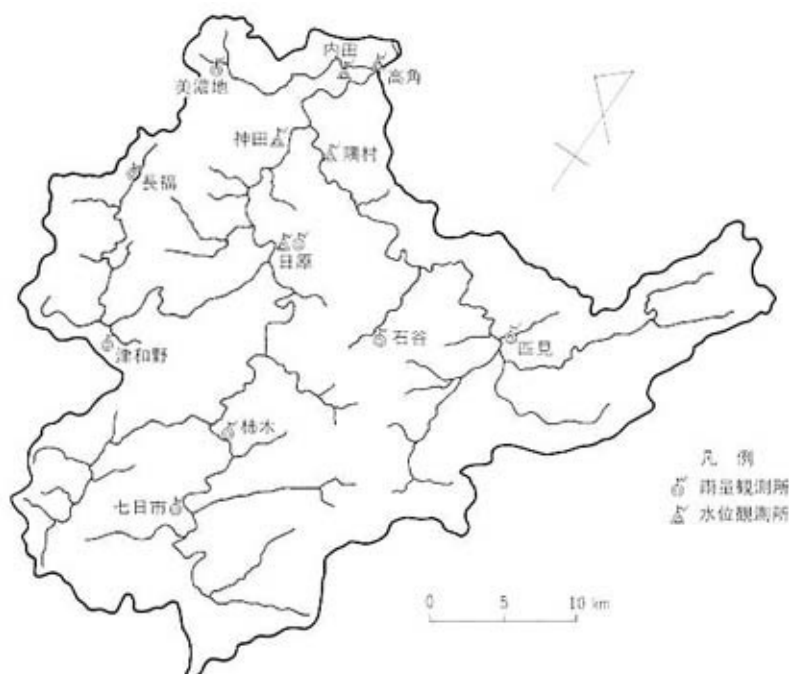


図4-9 雨量および水位観測所位置図

表4-1 雨量観測所（高津川水系）

河川名	観測所名	観測開始 年月日	観測所所在地	緯度 経度	標高 m
高津川	柿木	S.44. 6.28	島根県鹿足郡 柿木村柿木	34-26-07 131-52-20	195
高津川	日原	S.19. 1.	島根県鹿足郡 日原町枕瀬	34-31-32 131-52-07	95
高津川	七日市	S.50.10. 2	島根県鹿足郡 六日市町抜月	34-22-52 131-53-25	280
津和野川	長福	S.44. 6.21	島根県鹿足郡 津和野町長福	34-31-42 131-43-14	250
匹見川	石谷	S.44. 6.20	島根県美濃郡 匹見町石谷	34-31-55 131-55-52	370
白上川	美濃地	S.43. 6. 1	島根県益田市 美濃地町	34-37-16 131-43-48	70
津和野川	津和野	S.50.10. 2	島根県鹿足郡 津和野町中座	34-26-46 131-46-33	280
匹見川	匹見	S.27. 9. 1	島根県美濃郡 匹見町落合	34-34-19 131-01-04	260

表4-2 水位観測所（高津川水系）

河川名	観測所名	観測所所在地	流域面積 km <sup>2</sup>	河口又は合流点 よりの距離 km	計画高水量 m <sup>3</sup> /sec	計画高 水位m	警戒水位 m	指定水位 m
高津川	高角	島根県益田市 須子町中村	1,076.0	2.4	4,200	6.67	3.10	1.90
高津川	神田	島根県益田市 神田町	615.0	12.9	2,700	6.92	3.30	2.00
高津川	日原	島根県鹿足郡 日原町	548.0	24.7	2,400	6.00	2.60	1.60
匹見川	隅村	島根県益田市 隅村町	357.2	高津川合流点より 2.4	1,500	-	-	-
白上川	内田	島根県益田市 内田町	152.8	高津川合流点より 0.6	530	7.03	-	-

## (2)降水量

図4-10は昭和44年～平成元年の高津川流域内主要地点における年間降水量の経年変化を示したものである。この間の年平均降水量は津和野で1,908mm、六日市で2,091mm、匹見で2,099mm、益田で1,686mmである。降水量の多い年は昭

表4-3 益田の月別降水量

(単位：mm)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
昭和54	81	121	117	88	93	241	128	33	199	176	131	101	1,358
55	100	43	162	119	198	66	416	482	102	163	118	104	2,073
56	55	84	63	159	73	389	230	171	93	123	107	86	1,633
57	167	53	106	130	81	38	298	58	285	64	102	60	1,442
58	87	95	190	144	135	180	-	-	305	88	75	154	-
59	103	70	76	107	60	218	131	40	134	68	125	135	1,267
60	60	140	170	145	165	720	-	21	241	122	84	85	-
61	34	47	68	95	261	253	282	58	100	72	43	143	1,456
62	60	50	180	39	123	222	335	241	141	186	60	105	1,742
63	44	52	116	84	144	220	277	72	192	101	88	31	1,421
平成1	154	238	132	52	114	84	317	110	611	55	103	53	2,023
平均	86	90	125	106	132	239	268	129	218	111	94	96	1,602

和 47、55、60 年などで 3,000 mm 近くまで達している年もある。降水量の少ない年は昭和 48,53,63 年などである。降水量の多い年と少ない年が数年を隔てて交互に繰り返されており、比較的周期的な経年変化をみせている。また、表 4-3 に昭和 54 年以降の益田の月別降水量を示す。

流域の降水量分布（図 4-11）をみると、概ね地形の標高に比例した分布をしており、特に脊梁部の山列方向（北東-南西）にほぼ平行して等雨量線が分布している。海岸部では年平均 1,600 mm 以下であるが、脊梁山地地帯は平均 2,000 mm を越える多雨地帯である。

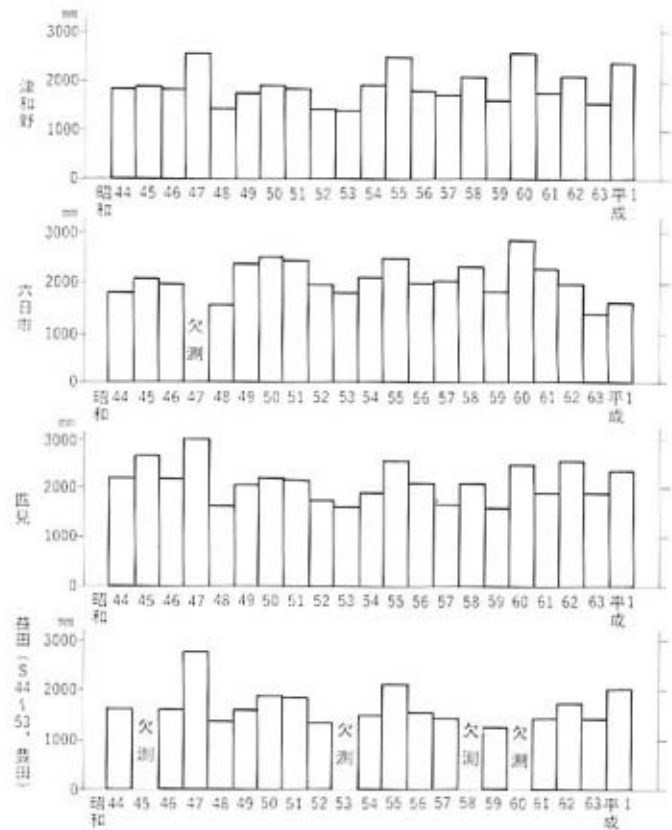


図 4-10 主要地点における年降水量の経年変化  
(資料：島根県統計書)

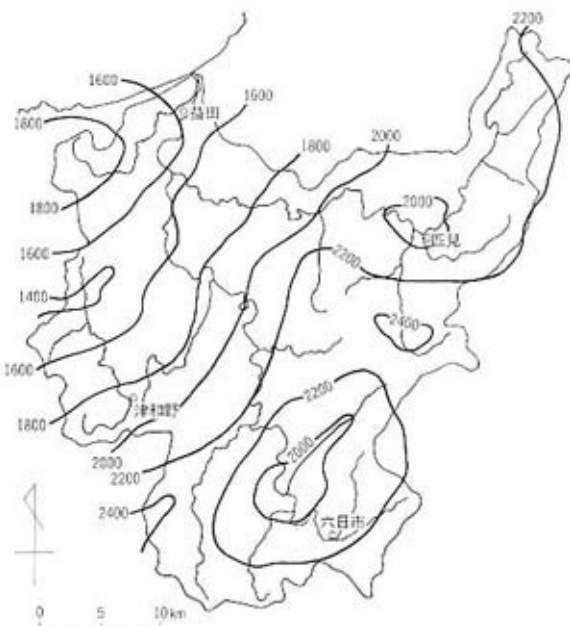


図 4-11 流域の降水量分布図  
(昭和52～61年の平均値)

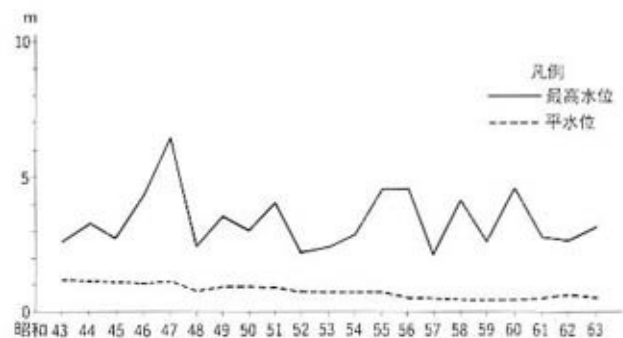


図 4-12 高津川の最高水位・平水位の変化